



営農支援情報

～営農にお役に立つ情報をお届けします～

平成29年12月1日

(第2号)

発行元:ホクレン北見支所 営農支援室
(アドレス: 11einousien@hokuren.jp)

今号のテーマ:『酪農(生乳)について』

【コンテンツ】

- ホクレン乳用成牛飼養環境向上支援事業
- 北海道粗飼料確保緊急対策事業
- 飼料事業改革の取り組みについて
- 北見施防協試験結果:飼料用トウモロコシ(施肥)
- イベント情報:JGAP指導員基礎研修

I. ホクレン乳用成牛飼養環境向上支援事業～飲んで食ってゴロリ～

1. 事業の目的

乳牛の泌乳能力が向上する一方で、乳牛の健康維持に重要な「飲水」「採食」「快適な寝起き」ができる牛舎の基本的な環境整備が不十分なために、泌乳期の生乳生産ロスや分娩直後の疾病・死亡事故が発生しています。

中でも乳牛の飲水量は個体乳量と高い相関がありますが、給水配管の口径不足、水槽へのアクセスの問題、さらには北海道特有の冬期間の水温低下や凍結などにより、飲水量が制限され、生産性が抑えられている農場が存在しています。

そこで、本事業では乳用成牛の「飲水」「採食」「快適な寝起き」等の環境向上のための投資を支援することで、乳牛の泌乳能力の最大発揮、供用年数の延長を後押しする事を目的としています。

2. 助成対象費用

◆生乳生産者段階において、乳用成牛の飼養環境向上に資する下記4カテゴリの費用(工事費含む)の一部を助成します。

カテゴリ	対象物品
① 給水(飲んで)	給水配管の口径UP、水槽の大型化、水槽の増設、貯水タンク、圧送ポンプ、ウォーターカッスなど
寒冷対策	ヒーター付給水器、投げ込みヒーター、水槽前凍結対策用マットなど
② 飼槽(食って)	レジコン施工、FRP施工、ステンレス飼槽など
③ 牛床(ゴロリ)	牛床マット、繫留方法の改善、仕切柵、カウトレーンなど
④ 牛舎開口部	防鳥ネット、電気柵など(カラス・キツネから成牛を守るための牛舎侵入防止用)

※上記①～④は乾乳舎・分娩房も含む。

※1. 国の補助事業との重複助成を可とします。

※2. 牛舎の躯体部分(建物・構築物)、電気工事、敷料等の消耗資材は対象外とします。

※3. 事業費5万円未満は対象外とします。

3. 事業の期間

- ◆平成29年度～30年度までの**2カ年間実施**します。
※平成29年度事業の参加取りまとめは既に完了しております。
※平成30年度事業は平成30年3月1日～平成31年2月末の納品分を対象とし、平成30年夏頃の参加取りまとめを予定しております。

4. 助成割合・助成額

- ◆**事業費の30%を助成**します。※助成額は百円単位切り捨て。
但し、事業期間中（2カ年合計）で50万円/戸（税抜）を上限とします。
※国の補助事業との重複申請者は、補助金を除く実質生産者負担額の30%を助成します。

5. 問い合わせ先

- ◆本事業の詳細は、所属JA及びホクレン北見支所酪農課にお問い合わせください。
- ◆本事業助成対象となる改善事例集も作成しておりますので、参考にされたい方は所属JA及びホクレンまでお問い合わせください。

Ⅱ. 北海道粗飼料確保緊急対策事業（事業対象の追加）について

昨年の台風被害対策に加え、今年の台風18号により倒伏等の被害を受けた自給飼料（デントコーンや牧草等）のサイレージの品質低下を抑制するための乳酸菌等の添加や、粗飼料が不足する際の代替粗飼料の緊急確保を支援する事業です。 【平成29年10月27日要領改正】

※ホクレンは本事業の事業実施主体として、手続きを担当しております。

1. サイレージ品質低下防止対策

- 【事業内容】 発酵促進資材等の購入支援
- 【補助率】 1/2以内
- 【補助対象】 乳酸菌等の発酵促進剤、ギ酸等の有機酸、二次発酵抑制剤 等
- 【上限】 有（被害後に収穫した面積相当）

2. 代替粗飼料の確保対策

- 【事業内容】 代替粗飼料の購入支援
- 【補助率】 定額（5円/kg以内）
- 【補助対象】 国産の粗飼料、TMR（原料の半分以上が粗飼料のもの）、輸入乾牧草、その他
- 【上限】 有（収穫不能面積、給与不能数量）

【事業実施主体】 ホクレン農業協同組合連合会

【事業要件】

- ・共同購入であること（平成29年台風18号の被害を受けた日～平成30年3月31日までの購入分が対象）※北海道では、平成29年9月18日以降の購入分
- ・被害状況（収穫不能面積、被害後収穫面積、給与不能数量）が確認出来ること

Ⅲ. 飼料事業改革の取り組みについて（本会独自値下げ）

本会では「事業改革プラン」に基づき、配合飼料のコスト低減に向け検討を重ねています。

その取り組みの一環として、本年6月には、ホクレンくみあい飼料株式会社（以下くみあい飼料）の本会所有の株式の一部を全国農業協同組合連合会（以下全農）へ譲渡し、全農の子会社とすることによって、全農が持つ配合飼料製造に係わる設計及び品質・採算管理などの機能を、くみあい飼料に移管いたしました。

今般、この機能合理化により今後生じるメリットを還元し、農家所得向上の一助となるよう、平成29年11月供給分より配合飼料価格に反映することといたしました。

【価格反映対象銘柄】 JAに供給する配合飼料（紙・バラ）

※ただし、代用乳・豚人工乳・混合飼料・オールインワン製品および馬・羊・魚・うさぎ用を除く

【総額】 年間約3億2千万円（トンあたり400円の値下げ）

【北見施防協試験結果のコーナー】

～このコーナーでは過去に行った北見施防協試験※の結果（概要）を中心にご報告いたします～

※北見施防協試験とは？・・・オホーツク管内の各JA・網走農業改良普及センター・ホクレン北見支所では、「北見施肥防除合理化推進連絡協議会（北見施防協）」を組織しており、肥料・農業に関する新資材や新技術に係る現地試験会場を設置し、その結果を取りまとめています。

飼料用トウモロコシで **肥効調節型肥料** を使用した
過去3カ年の施防協試験結果をまとめました。

CR肥料で

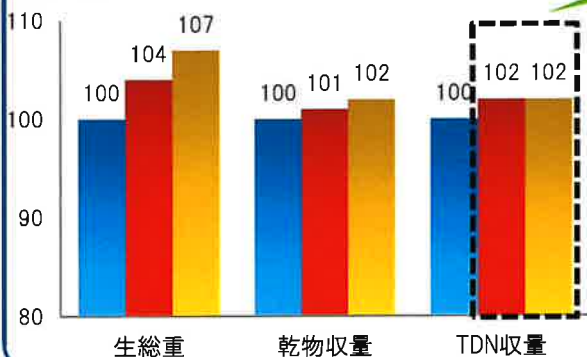
省力化!



<H24～26年施防協試験結果（管内7試験平均）>

■ 慣行区 ■ 試験区(BBS589CR) ■ 分肥区(硫安)

慣行比(%)



分肥と同等の効果 が狙えます。

※試験銘柄からデントコーン施肥場面での施肥量を考慮し、セラコートの含有率を変えず、高窒素成分とし **BBS277CR (22-17-7)** を上市しました。

高窒素銘柄なので

60kg/10a程度の施肥が可能 (慣行80kg)

保証成分% (N-P-K-Mg)	施肥量例 (kg/10a)	施肥要素量 (kg/10a)				特徴
		N	P	K	Mg	
BBS277CR (22-17-7-4)	60	13.2	10.2	4.2	2.4	セラコートR15 6.7% 4kg/10a

※リン酸、カリ減肥体系となりますので、土壌分析を実施した上でご使用ください。

【イベント情報】

～このコーナーではオホーツク管内他で開催予定のイベント情報をお届けいたします～

- イベント名: JGAP指導員基礎研修(主催: 認定NPO法人 GAP総合研究所)
- 開催期間: 平成29年12月11日(月)～12日(火) ● 開催場所: 北見農業会館
- ★「JGAP指導員」の認定資格取得のための研修会を開催いたします!

★内容に関してのお問い合わせやご意見・ご感想につきましては、ホクレン北見支所 営農支援室 (担当: 吉岡)まで、メールにてお願いいたします。(アドレス: 11einousien@hokuren.jp)

～次号予告～

次号のテーマは『玉ねぎ』についてです。乞うご期待下さい!